

独立行政法人日本学生支援機構発行の「日本学生支援債（ソーシャルボンド）」への投資について（令和7年9月9日）

このたび、独立行政法人日本学生支援機構が発行する「日本学生支援債（ソーシャルボンド）」に投資したことをお知らせします。

周南市は地域における知の拠点として、また、地域社会及び産業の持続的な振興、発展に寄与することを目的に令和4年「周南公立大学」を開学しました。

独立行政法人日本学生支援機構は、教育を「受ける権利」「教育の機会均等」を制度的に支え、学生支援のナショナルセンターとして、教育のセーフティーネットを担うべく設立された法人であり、今回の調達資金は奨学金に充当される予定と伺っています。

今回の投資により、同大学生の側面的な財政支援につながることを期待しています。

今後とも本市ではSDGs（持続可能な開発目標）への取組の1つとして、積立基金の運用においては、安全性や運用効率を確保しながら、SDGs債（ESG債）を活用してまいります。

※SDGs債とは、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドなどの総称で、環境・社会課題解決を目的とした資金調達として発行される債権です。

SDGs債の中でソーシャルボンドとは、社会的課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券です。